

## 岐阜県のコウモリ類

山本 輝正

(コウモリの会・岐阜県立土岐紅陵高等学校)

### 1. 岐阜県で確認されたコウモリ類：3科17種の紹介

日本に生息するコウモリ類は35種(+絶滅種2種)です。岐阜県でこれまで確認されているコウモリ類は、17種です。近隣県と比較すると、一番多く確認されているのが長野県の19種です。愛知県で確認されているオヒキコウモリが、今後岐阜県でも確認される可能性があります。このほかに、石川県で確認されているヒメヒナコウモリと長野県で確認されているコヤマコウモリが、岐阜県で確認されるのは、難しいかな？

ちなみに岐阜県で確認されているコウモリ類は、キクガシラコウモリ科のキクガシラコウモリ、コキクガシラコウモリとヒナコウモリ科のヤマコウモリ、ヒナコウモリ、クビワコウモリ、モリアブラコウモリ、アブラコウモリ、ノレンコウモリ、チチブコウモリ、カグヤコウモリ、ヒメホオヒゲコウモリ、クロホオヒゲコウモリ、モモジロコウモリ、ニホンウサギコウモリ、テングコウモリ、コテングコウモリとユビナガコウモリ科のユビナガコウモリの17種です。

### 2. 日本産キクガシラコウモリ科2種の音声の地理的変異

日本に生息するキクガシラコウモリ科4種のうちキクガシラコウモリとコキクガシラコウモリは、広く日本の北海道から九州に生息し、FM/CF/FM型の音声を発します。岐阜県ではそれぞれ68kHzと104kHz付近にCF音のピークを持ちます。それぞれの音声は、北海道から九州にかけて増加することが知られています。岐阜県を含む本州中部地区における両種の音声の南北における地理的変異について調査を行いましたので、その結果を報告します。

### 3. 岐阜県におけるD500Xによる音声調査（2014年）

2014年～2017年にかけて、連続した夜間のコウモリ類の音声録音による調査を実施しました。今回2014年のデータの解析から分かり始めたコウモリ類の生態など（アブラコウモリのSocial callを含む音声で、夜間鳴き続けている数種のコウモリ）について報告します。

#### 講演者プロフィール

岐阜県生まれ。金沢大学理学部生物学科卒業、金沢大学大学院理学研究科修士課程修了、理学修士。現在、岐阜県立土岐紅陵高等学校教諭、コウモリの会会長、クビワコウモリを守る会会長。専門はコウモリ類の生態学。BBCのタイのコウモリ撮影を現地で指導・協力（2016年）。「世界ふしぎ発見」出演（2021年11月）。主な著書に『ようこそ自然保護の舞台へ（分担執筆、地人書館）』、『コウモリ識別ハンドブック 改訂版（分担執筆、文一総合出版）』。